

暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう

心の ともしび



十字架の下の幼子イエス

シスター
萩原久美子



Merry Christmas

私が所属していた小さな教会では、クリスマスの馬小屋作りは中・高生の役割でした。小さい頃、兄や姉たちが楽しそうに準備をしているのを見ながら、いつか自分も・・・と楽しみにその時を待ち望んでいました。そして、中・高生になって仲間たちと馬小屋の準備をするようになり、楽しさだけでなく大変さも味わいながら準備したことを懐かしく思い出します。そうして準備した馬小屋は、街のショールウィンドーに飾られているような煌びやかさはなくても、クリスマスの夜、飼葉桶に眠る小さな幼子イエス様を礼拝する信者さんたちが、その出来具合を褒めてくれることが何よりうれしかったことを覚えています。

ある年のクリスマス、色々な教会を巡り歩いている時、ふと入った教会には十字架の下に幼子イエス様が小さなかごに入れられ、そっと置かれていただけでした。



これまでに見たこともないとてもシンプルなクリスマスの飾りに驚いたのと同時に、イエス・キリストの誕生と十字架上の死が一瞬でつながったような気がしました。

待ち望むことができるのは、そこに確かな約束があることを希望してのことでしょう。幼かった頃、待ち望むのは幼子イエス様の誕生だけであつたのだらうと思います。しかし、大きくなつて、イエス・キリストの誕生が十字架の死と復活に結びついた時、待ち望むべきものは、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちなのだ。そこに確かな約束と希望があることを信じて待ち望むこと。

この信仰が、街のざわめきにはない教会のクリスマスの静かな雰囲気を感じし出しているのかもしれない。「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです」

(ヘブライ11・1)

ホームページ (<https://www.tomoshibi.or.jp>)



【ラジオ番組「心のともしび」】 月曜日から土曜日まで毎朝、全国ネットで放送中！

各方面で活躍中の執筆者約30名が、その月のテーマに沿って書き下ろしたお話をナレーターの朗読でお届けする番組です。放送されたお話の中から毎月6篇を選んで機関紙に掲載しています。ぜひ、他の方のお話もお聴きください。パソコンやスマートフォンでも「ポッドキャスト」で午後1時（土曜日放送分は日曜日）から配信しております。ラジオが聴けるアプリ「ラジコ」のタイムフリーなら過去1週間以内に放送された番組がお聴きいただけます。

放送時間や「ポッドキャスト」、「ラジコ」などはホームページを御覧ください。

仮事務所 連絡先 (電話：075-211-9341 FAX：075-211-9343)

〒602-0934 京都市上京区一条殿町502-1 カトリック西陣教会青年会館内 心のともしび運動YBU本部